

経済動向調査のまとめ

平成30年3月値

平成30年6月4日 発行

この景気動向調査のまとめは、下記の実施機関の調査資料をまとめたものです。

会員事業所の経営計画等の判断にご活用いただければと思います。

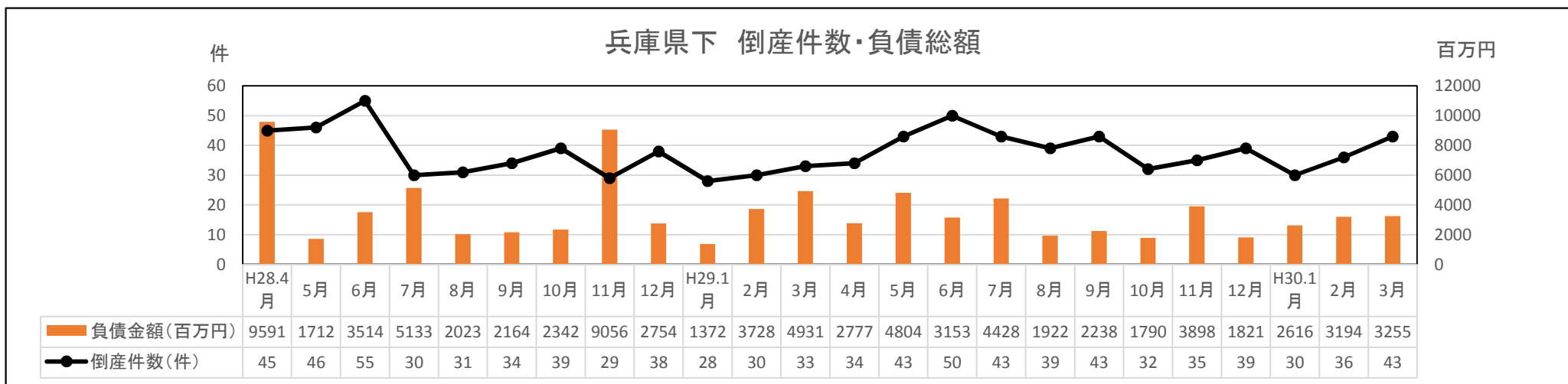
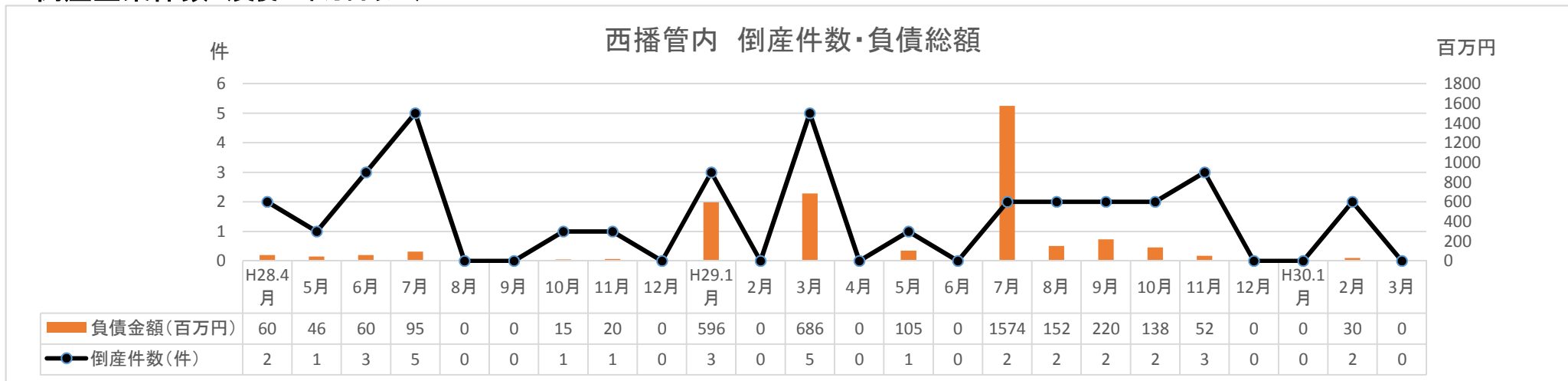
※業種別等の詳細資料をご希望の方は、商工会事務局(TEL 0790-82-2218)へご連絡ください。

経済動向調査 参照元

調査資料	実施機関	調査対象	数値時期
地域経済景況調査	兵庫県西播磨県民局	西播磨県民局管内	H30.3
全国中小企業動向調査(小企業データ)	日本政策金融公庫	小企業(6,458社)	H30.1-3月実績
小規模企業景気動向調査	全国商工会連合会	全国300商工会の調査	H30.3
にしん景況レポート	西兵庫信用金庫	西播磨地域 101社	H30.1-3月実績

佐用町商工会

1. 倒産企業件数（負債1千万円以上）



【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

西播磨管内

西播磨の9月の企業倒産件数は2件（前年同月0件）となっている。
西播磨の9月の負債総額は2億20百万円となっている。（前年同月21億64百万円）

兵庫県下

県下の9月の企業倒産件数は43件（前年同月34件）となっている。
なお、県下の9月の負債総額は、22億38百万円（対前年同月比3.4%増）となっている。（前年同月21億64百万円）

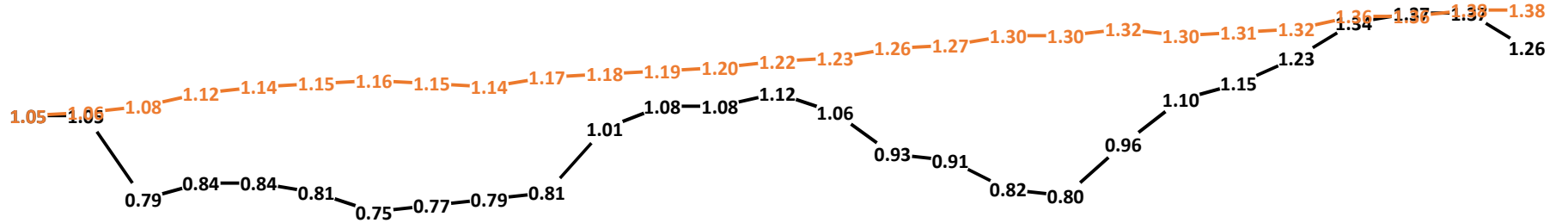
2. 西播磨の有効求人倍率の推移

西播磨の9月の有効求職者数は、3,666人（前月から331人減）で対前年同月比23.2%の減となっている。

有効求人数は4,032人（前月から184人増）で対前年同月比7.1%増となっている。

また、有効求人倍率は1.10倍で対前年同月比0.31ポイント上昇している。

なお、兵庫県全体の有効求人倍率（季調値）は1.30倍で対前年同月比で0.16ポイント上昇した。



	H28.0	H28.0	H28.0	H28.0	H28.0	H28.0	H28.0	H28.0	H28.0	H28.1	H28.1	H28.1	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	H29.0	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	1	2	3
— 龍野職安	1.05	0.79	0.84	0.84	0.81	0.75	0.77	0.79	0.81	1.01	1.08	1.08	1.12	1.06	0.93	0.91	0.82	0.80	0.96	1.10	1.15	1.23	1.34	1.37	1.37	1.26	
— 兵庫県	1.05	1.06	1.08	1.12	1.14	1.15	1.16	1.15	1.14	1.17	1.18	1.19	1.20	1.22	1.23	1.26	1.27	1.30	1.30	1.32	1.30	1.31	1.32	1.36	1.36	1.38	1.38

— 龍野職安 — 兵庫県

【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

有効求人倍率とは、「求人数（仕事の数）」を「仕事をしたい人の数」で割ったものです。
 これは、世の中にどれくらい求人（仕事）があって、それにどれくらい応募（仕事をしたい人）があるかを表しています。
 たとえば、仕事の案件が100件あり、そこに200人応募していたら、有効求人倍率は「0.5」になります。
 逆に、求人募集が200件あって、それに応募する人が100人しかない場合、有効求人倍率は「2」になります。

D I 値とは-----

例えば、売上額D I の場合、経営者等に売上状況を、(1) 良い(2) やや良い(3) 普通(4) やや悪い(5) 悪いの5段階により調査します。

その回答が、(1) 良い 10% (2) やや良い 15% (3) 普通 35% (4) やや悪い 15% (5) 悪い 25%だったとすると

$[(1) 10\% + (2) 15\%] - [(4) 15\% + (5) 25\%] = [25\%] - [40\%] = \Delta 15\%$ --- DI値

DI値 $\Delta 15\%$ とは、「良い」という回答より「悪い」と回答した経営者が15%多いことになる。

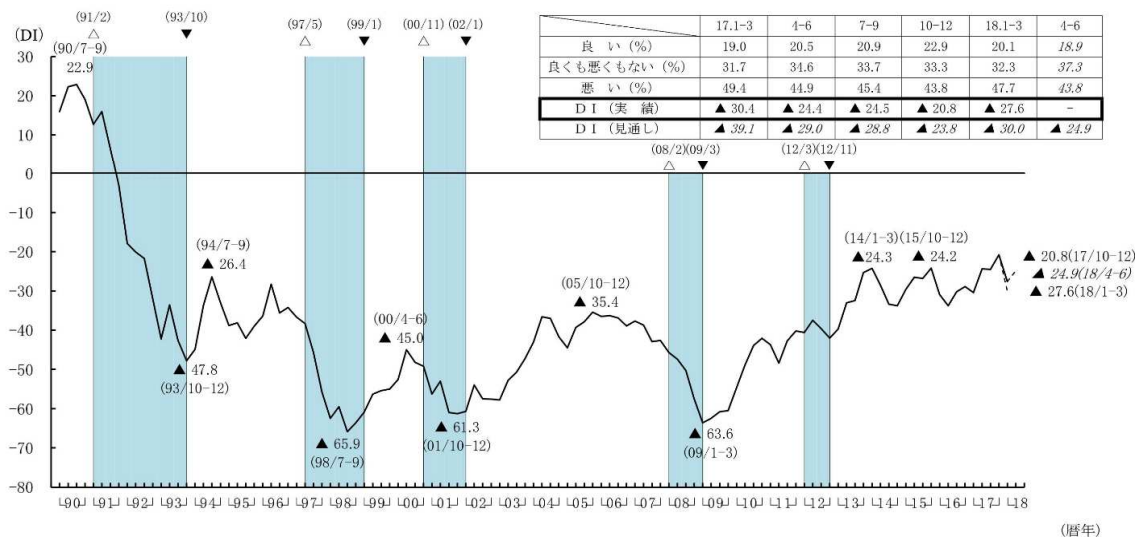
ただ、DI値は結果数値なので、「良い」「悪い」水準比較も必要である。

3. 業況

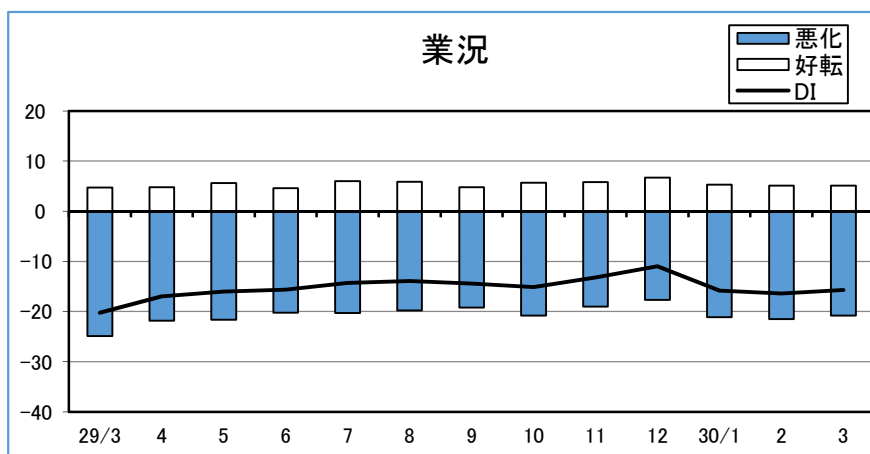
1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2017年10-12月期）からマイナス幅が6.8ポイント拡大し、▲27.6となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小し、▲24.9となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査



年/月	好転	悪化	DI
29/3	4.7	-24.9	-20.2
4	4.8	-21.8	-17.0
5	5.6	-21.6	-16.0
6	4.6	-20.2	-15.6
7	6.0	-20.3	-14.3
8	5.9	-19.8	-13.9
9	4.8	-19.2	-14.4
10	5.7	-20.8	-15.1
11	5.8	-19.0	-13.2
12	6.7	-17.7	-11.0
30/1	5.3	-21.1	-15.8
2	5.1	-21.5	-16.4
3	5.1	-20.8	-15.7

前月から一転、建設業以外の3業種で業況が改善した小規模企業景況

3月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）、売上額DI、資金繰りDIはわずかに改善した。採算DIは不変であった。春の行楽シーズンに入り、3月中旬頃から観光に関連した小売業、サービス業を中心に業況が改善した。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

—景況感は低迷する—

平成30年1～3月期の業況判断D.I.は△10.2と、前期比9.2ポイント低下した。前期に比べ業況が「良い」と回答した企業の割合が減少したことに加え、業況が「悪い」と回答した企業の割合が増加したことにより、前期比9.2ポイントの低下となった。収益面では、前年同期比の売上額判断D.I.が1.0と前期比2.0ポイント低下し、同収益判断D.I.は△7.1と前期比10.1ポイント低下した。業種別の業況判断D.I.は、6業種すべてで低下した。販売価格の低下などによる売上高の減少に加え、資金繰りがやや苦しくなったことが主要因であった。



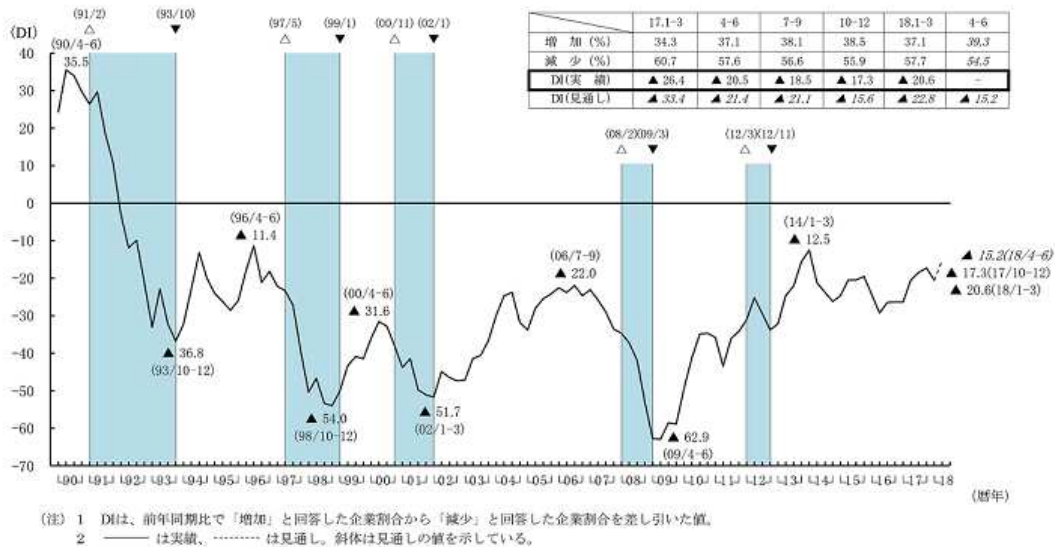
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

4. 売上

2 売上

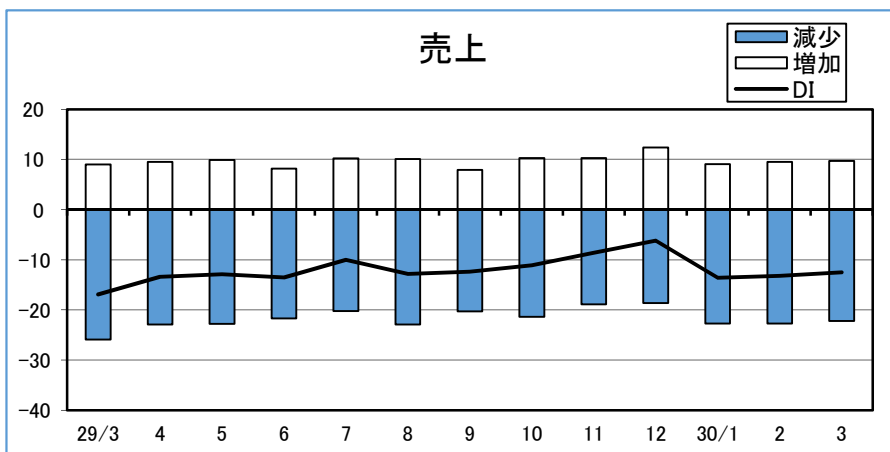
- 今期の売上DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が3.3ポイント拡大し、▲20.6となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-4 売上DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

売上



年/月	増加	減少	DI
29/3	9.0	-25.9	-16.9
4	9.5	-22.9	-13.4
5	9.9	-22.8	-12.9
6	8.2	-21.7	-13.5
7	10.2	-20.2	-10.0
8	10.1	-22.9	-12.8
9	7.9	-20.3	-12.4
10	10.3	-21.4	-11.1
11	10.3	-18.9	-8.6
12	12.4	-18.6	-6.2
30/1	9.1	-22.7	-13.6
2	9.5	-22.7	-13.2
3	9.7	-22.2	-12.5

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

—販売価格、仕入価格ともに上昇が弱まる—

収益面では、前年同期比の売上額判断D. I. が1.0と前期比2.0ポイント低下し、同収益判断D. I. は△7.1と前期比10.1ポイント低下した。

業種別の業況判断D. I. は、6業種すべてで低下した。販売価格の低下などによる売上高の減少に加え、資金繰りがやや苦しくなったことが主な要因であった。

販売価格判断D. I. は4.1と、前期比3.8ポイント低下した。また、仕入価格判断D. I. は、26.6と前期比1.1ポイント低下した。

グラフ無し

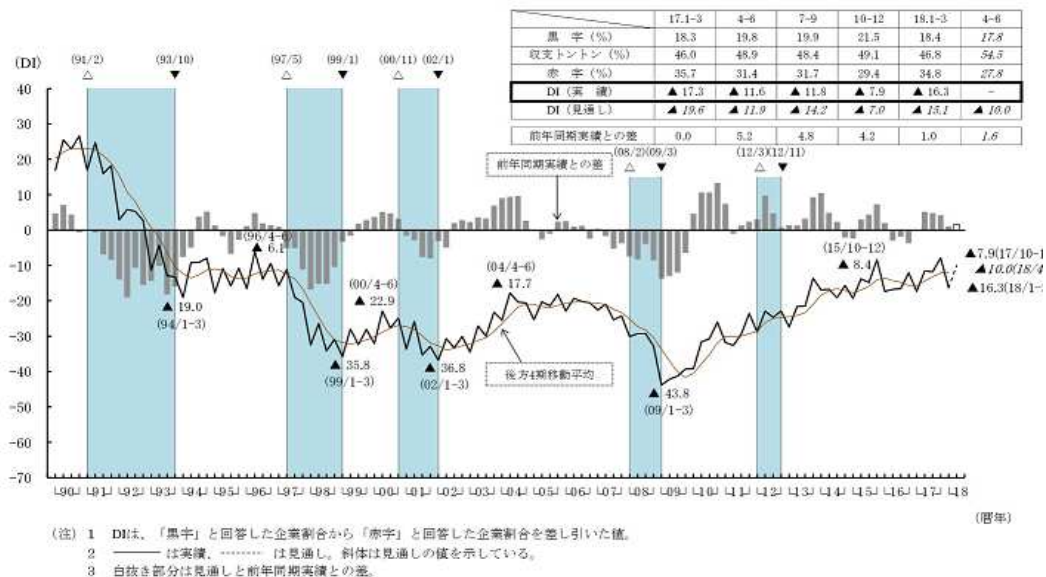
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

5. 採算

3 採算

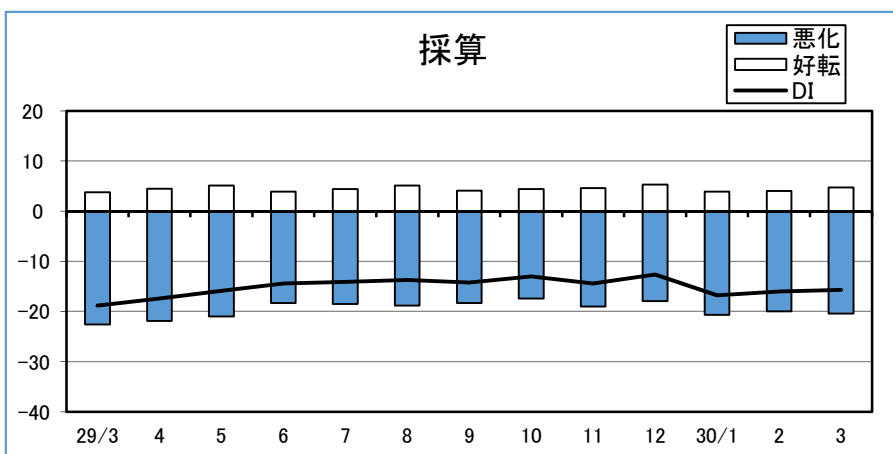
- 今期の採算DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が8.4ポイント拡大し、▲16.3となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

図-5 採算DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

採算



年/月	好転	悪化	DI
29/3	3.8	-22.6	-18.8
4	4.5	-21.9	-17.4
5	5.1	-21.0	-15.9
6	3.9	-18.3	-14.4
7	4.4	-18.5	-14.1
8	5.1	-18.8	-13.7
9	4.1	-18.3	-14.2
10	4.4	-17.4	-13.0
11	4.6	-19.0	-14.4
12	5.3	-17.9	-12.6
30/1	3.9	-20.7	-16.8
2	4.0	-20.0	-16.0
3	4.7	-20.4	-15.7

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

収益面では、前年同期比の売上額判断D.I.が1.0と前期比2.0ポイント低下し、同収益判断D.I.は△7.1と前期比10.1ポイント低下した。
 業種別の業況判断D.I.は、6業種すべてで低下した。

グラフ無し

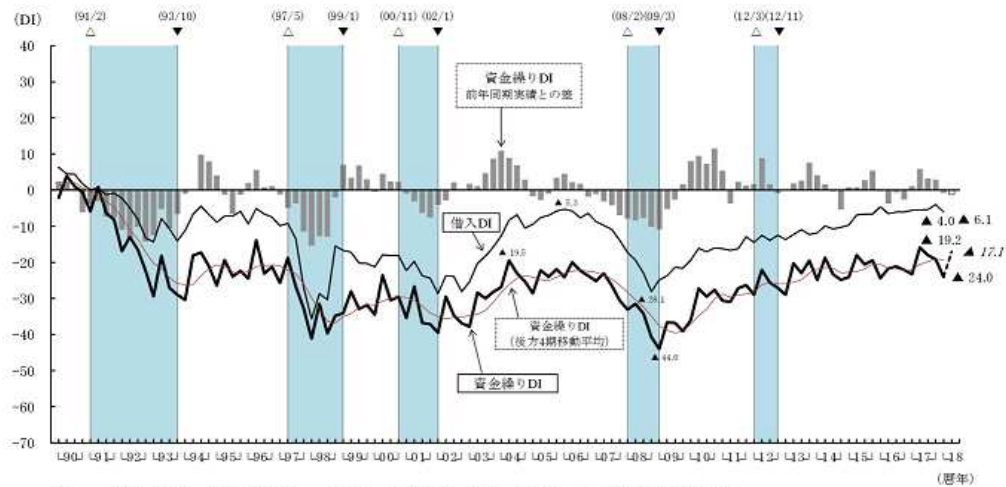
【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

6. 資金繰り

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が4.8ポイント拡大し、▲24.0となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前回調査からマイナス幅が2.1ポイント拡大し、▲6.1となった。

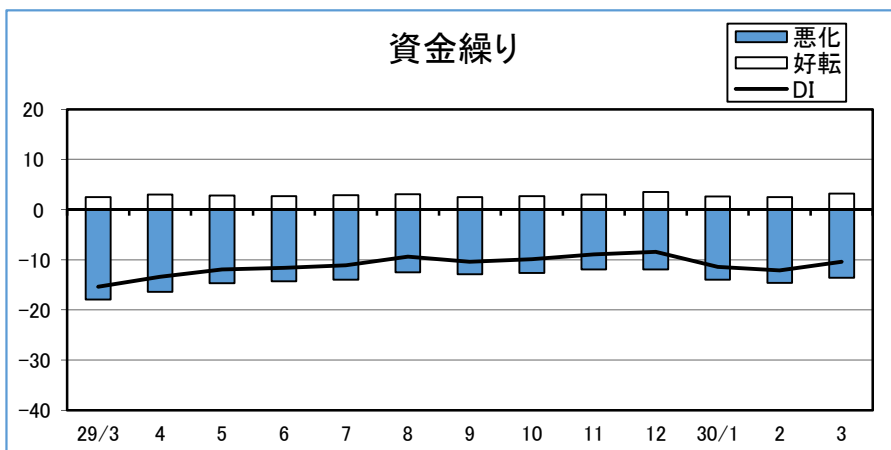
図-6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実線、----- は見通し、斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

資金繰り



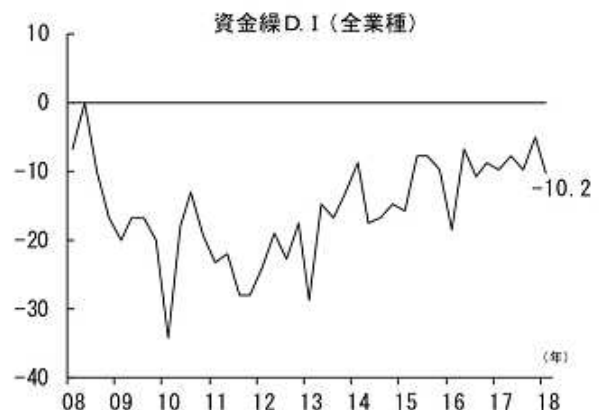
年/月	好転	悪化	DI
29/3	2.5	-17.9	-15.4
4	3.0	-16.4	-13.4
5	2.8	-14.7	-11.9
6	2.7	-14.3	-11.6
7	2.9	-14.0	-11.1
8	3.1	-12.5	-9.4
9	2.5	-12.9	-10.4
10	2.7	-12.6	-9.9
11	3.0	-11.9	-8.9
12	3.5	-11.9	-8.4
30/1	2.6	-14.0	-11.4
2	2.5	-14.6	-12.1
3	3.2	-13.6	-10.4

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

—資金繰り判断D.I.は低下—

資金繰り判断D.I.は△10.2と、前期比5.2ポイント低下した。

業種別では、小売業が前期比4.4ポイント、不動産業が同20.0ポイントそれぞれ改善し、製造業が同9.1ポイント、卸売業が同1.1ポイント、サービス業が同10.5ポイント、建設業が同11.1ポイントそれぞれ低下した。



【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート